

事業報告

令和元年度 教育事業

信州高遠自然みつけ隊～晩秋編～

令和元年11月23日(土)～24日(日)

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

○子どもたちに豊かな自然体験を経験させるとともに、科学的な好奇心を育ませる。

また、他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

時												13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1 日目	13:00～13:30 受付 13:30～ 開会式											受付・開会式	散策（小枝拾い）	マイはし作り	クラフト活動	夕飯のついで	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝	
時	6	7	8	9	10	11	12															
2 日目	起床	朝のつどい	朝食	荷物整理	(食文化体験)	もちつきをしよう！	閉会式・解散	12:00～12:30 閉会式 12:30～ 解散														
2																						

～参加者～

6家族（大人：10名、中学生：1名、小学生：8名） 計：19名

（長野県、埼玉県、静岡県、東京都）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 散策・マイはし作り

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺を散策しながら木の枝や木の実等を採集し、マイはしとはし置き作りを行った。子供だけでなく、大人も夢中になって取り組んでいた。拾ってきた木片を上手に利用して、世界に一つだけのはしをつくることができた。できたはしはそれぞれの家族同士で見学し、写真を撮ったり、作り方を質問しあったりする様子がみられた。



活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

最初に秋のプラネタリウムを鑑賞し、その後指導員の方から秋の星座や宇宙についての説明を聞いた。広大な宇宙の広さの説明や星座の成り立ちの話に聞き入っていた。その後、星座に関するレクリエーションを行ったり、実際に屋外に出て指導員の説明を受けたりした。屋外では、天候が良くなかったため、あまり星を観察することはできなかったが、夜空を見上げながら時折見える星を熱心に観察していた。



活動Ⅲ 食文化体験「もちつきをしよう」

講師：信州高遠青少年自然の家 食文化指導員

自然の家の敷地内で、もちつきの指導員による食文化体験を行った。参加者の中には初めて体験する子どもも多く、指導員の方の話をよく聞いて挑戦した。はじめは、恥ずかしがって見ているだけの子どももいたが、周りの参加者たちが「よいしょ！よいしょ！」と掛け声をかけて盛り上がっている様子を見て、「やってみたい」と自分から取り組む姿が見られた。最終的には、参加者全員でもちをつき上げることができた。できたもちちは、子どもたちがこねて一口大の大きさに丸めて、配膳した。自分たちで作ったもちの味は格別で、中には3回もお代わりをする参加者もいた。



～参加者の声～

- ・毎回、初めての体験がありバラエティーに富んでおり、勉強になります。また参加したいと思った。
- ・子どもがみんなとても仲良くして嬉しかった。
- ・親子で体験ができて楽しかった。今後も親子で参加のできる体験を増やしてほしい。
- ・宿泊棟にカメムシがたくさんいて大変だった。次回は何か対策をしてほしい。

～成果と課題～

○昨年度の反省より、家族内だけでなく家族間での交流を増やせるプログラムを考えた。結果、家族同士のコミュニケーションも増え、より充実したプログラムになったように感じた。

●多くの参加者から「宿泊棟にカメムシが出て、困った」という話が出た。当日の昼にも職員でカメムシ退治を行ったのだが、夜になるとカメムシが発生していた。途中、参加者にも手伝ってもらいカメムシを駆除したが、完全には除去できなかった。時期を変えたり、宿泊棟を変えたりして対応していく必要がある。

